学力向上のための重点プラン【小学校】　新宿区立戸塚第三小学校

■　学校の共通目標　【ＨＰ公開用・様式１】

授業作り	重点	・個に応じた指導を充実させ、基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の向上を図る。 ・「新宿版ＧＩＧＡスクール構想」の下、各教科においてＩＣＴ機器を効果的に活用し、全ての児童にとって「分かる授業」を展開する。主体的・対話的で深い学びのできる児童を育成するため、全教科を通して思考力、判断力、表現力が育つような指導の充実を図る。昨年度に引き続き、児童同士が互いの考えを伝え合い、深く考えることで、共に学び合う児童を育成する授業作りをしていく。
環境作り		・学習目標や学習活動の明確化、視覚に訴える手立ての活用等、ユニバーサルデザインの視点を生かした学習環境づくりを進める。 ・ＯＪＴの機会などを活用して、各教員がＩＣＴ機器を活用した授業実践などを紹介し合うようにする。

■　学年の取組について

学年	学習状況の分析 （各種調査から）	学校が取り組む目標 （日常の授業の様子から）	目標達成のための取組
1学年		・平仮名を筆順通りに丁寧に書く意識を向上させる必要がある。 ・具体物や半具体物を使った学習を通し、数を数えることへの関心を高める必要がある。 ・音読の機会を増やし、音読しようとする気持ちを高める必要がある。	①指書き、空書き、写し書きなどのスモールステップを踏みながら指導すること ②板書を有効活用 ③追い読み、交代読みなどの音読の工夫
2学年		・漢字を筆順通りに正しく書く力を育成する必要がある。 ・多くの表現に触れる機会を設け、語彙を増やす必要がある。 ・たし算やひき算の筆算が正しくできる力の向上が必要である。 ・かけ算九九を正しく理解させる必要がある。	①　新出漢字の練習の習慣化と漢字のミニテストの活用 ②　デジタルドリルの活用 ③　計算問題に繰り返し取り組めるような課題設定の工夫
3学年	・漢字の学習に意欲的に取り組む児童が多いが、習得は確実ではない。 ・大事な部分を落とさずに聞いたり、相手の話を受けて質問をしたりすることに課題がある。 ・自分の考えをノートに記入する際、時間がかかったり、	・３年生に配当されている漢字の読み書きを定着できるようにする必要がある。 ・大事な部分を落とさずに聞いたり、相手の話を受けて質問をしたりする力の向上が必要である。 ・自分の考えを適切に表現する力の育成が必要である。	①定期的なミニテストやデジタルドリルなどを活用 ②児童が意識できる話し手と聞き手のポイントの確認 ④　語彙を増やし、考える際のツールとしてのＩＣＴ機器の活用 ④立式する際の具体物、図、数直線などの活用

	自分の考えを書いたりすることが難しい児童がいる。 ・文章問題の立式に課題が見られる。	・日常生活に必要な時刻や時間の意味を理解する力を身に付ける必要がある。	
4学年	・時間内に必要な情報を入れて自分の考えをまとめ終えることに課題がある。 ・文章の意図を正確に読み取る力を付ける必要がある。 ・算数科では、かけ算、繰り上がり繰り下がりの計算で誤答が多い。	・見通しをもち学習に取り組んだり、物事を順序だてて行ったりする力の向上が必要である。 ・必要な情報を落とさずに読み取る力の育成が必要である。 ・基礎的な計算問題を正確に解く力を身に付させる必要がある。	①見通しをもつための単元計画やノートの書き方の指導 ②読む力を付ける課題設定の工夫 ③デジタルドリルの活用
5学年	・国語科では、漢字の書き、部首、ことわざなどの理解に課題が見られる。 ・算数科では、かけ算やわり算の正答率が全国平均を下回っている。また、作図などの図形の学習にも課題が見られる。	・漢字を正しく書き、ことわざや慣用句などを使わせる必要がある。 ・四則計算を確実に理解する力を身に付ける必要がある。 ・円や展開図などの作図を正確に行う力を育成する必要がある。	①漢字のミニテストの効果的な実施。ことわざ、四字熟語などの伝統的な言語文化の紹介 ②デジタルドリルの活用 ③丁寧に書くことや見直しの徹底 ④コンパスや分度器の使い方を繰り返し指導。家庭学習での取り組みの強化
6学年	・国語科においてはほとんどの設問項目について全国平均を上回っている。 ・算数科においても、ほとんどの設問項目について全国平均を上回っている。 ・四則計算を正確に行う力の向上が必要である。	・物語文などの読解力はあるが、漢字や言語の力を継続して付ける必要がある。 ・課題に対して前向きに取り組む児童が多く、自ら工夫して学習を進める力がある。自ら課題を見つける力を付ける必要がある。 ・文章問題への正答率は高いが、計算問題での誤答があるので、落ち着いて問題に取り組む力を付ける必要がある。	①既習漢字や慣用句の定着を図るためのデジタルドリルの活用 ②四則計算の誤答を減らすための見直しの徹底 ③タブレット端末を有効活用した相互学習の推進 ④効果的なペア学習・グループ学習の設定
特別支援			